

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

179号

★ 2016年4月29日

★
常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

○ 中央図書館についての説明会

常盤台住民や利用者への説明会が以下のように行われます。

5月26日(木) 18:30~
於 図書館地下の視聴覚室

跡地利用については、できるだけ住民や利用者の要望を入れるよう、早めに話し合いの機会を設定してほしいと、3月末に図書館長に申し入れてありました。

平和公園への移転については地元の了解はまだついていないようですが、こちらの問題はこちらで進めていなければならないでしょう。

区の家では、教育科学館の裏にある地域センターと上板橋寄りの踏切そばにある区民事務所を複合した建物を建てるそうです。しかし、地域センターは常盤台に必要でしょうか。集会所や町会事務所もあるし、ギャラリー服部も借りられます。

それも一案ですが、私たち住民が、この街の未来をどのように描きたいのか、この機会に考えてはどうでしょうか。風俗店や警察沙汰の頻発する宗教団体で賑わう街でよいのでしょうか。図書館という文化施設を失ってよいのでしょうか、26日の話し合いに参加してみてください。

○ 「私の終わらない旅」 上映予告

坂田雅子監督
全国景観市民ネット主催、

時 7月9日(土) 13:30~15:00
所 泉の森会館(小田急線狛江駅2分)

○ 文教児童委員会の傍聴から

図書館の問題に関連して、景観を守る会は陳情を行っています。

平和公園周辺の住民が、中央図書館建設を嫌がっているのは、かけがえのない公園の広さを侵害されるからです。図書館の利便性、文化性を評価する人もいるでしょうが、その意見は聞こえてきません。反対派の人たちに納得してもらうには、かなりの条件を付けねばならないでしょう。

区が考えているような大きな複合施設ではなく、図書館単独なら公園に占める面積を減らせます。そばにある教育科学館そのものを図書館に改造するのも一案です。

調べてみたらかなりの広さのパソコン室が8月以外利用者0なのです。こういう無駄を他の施設をも検討して、新図書館の規模を少なくするべきではないか、との趣旨で教育科学館の有効利用を陳情しましたが、4月14日の委員会では継続審議となりました。

○ 災害地支援

東日本や今回の熊本地震の災害の被災者に、何とか寄付をと思う人は多いでしょう。

東日本の時はバザーの売り上げを赤十字にまで届けましたが、大きな団体ではそれがどのように使われたのかも分からないのが不満です。小規模だが信頼できる支援団体として以下の団体をお勧めしておきます。

「被災地NGO協働センター」
郵便振替 01180-6-68556

神戸に本拠があり、引き続き東日本の被災者に“まけないぞう支え合い運動”などを行っています。TEL 078-574-0701
FAX 078-574-0702

心配な報道の萎縮

四月からテレビの報道番組のキャスターがほとんど入れ替わりました。安倍政権の強引な報道への圧力が表に出た結果でしょう。各局が自粛し、権力におもねったので、国谷、岸井、古舘氏等が交代したと視聴者は捕らえています。彼らを通じて国民は情報を得るのですから、大変大きな出来事です。

特に政治的公平性の名目で、高市総務相が電波停止にまで言及した件では、もっと深く追及しなければいけない重大発言であったのに、政府は頼かむりのまま、高市氏も撤回するわけでもなく逃げ回っているようです。

こういう日本国内のお粗末な反応に比例して、海外では日本のメディアの萎縮を懸念する動きが見られます。

朝日新聞によれば、国連の人権理事会の特別報告者として調査に来日したデービッド・ケイ氏は、日本では表現の自由や報道の独立性が重大な脅威に直面していると記者会見で述べています。

折から四月二十日、国際NGO「国境なき記者団」が発表した「報道の自由度ランキング」では、日本の自由度はなんと七二位だそうです。中国や北朝鮮での報道規制をえらそうに憂慮などしている状態ではないのです。

きちんとした権力批判をしていた今までのキャスターに比べると、新しい人たちは、やはりおとなしめです。無難な態度が共通しているようで、メディアの果たすべき役割を認識しているのかいないのか、ただのアナウンサーであることを志しているかのようです。

タカが公園に？

四月の半ば、常盤台公園を低く飛んでトウカエデの枝にとまった鳥が目にとまりました。ハトやカラスではないし、ヒヨドリに大きさが近いが、飛び方が違いました。とまった枝の下まで走っていき、見上げるとまだいました。猛禽類です。とても小柄でヒヨドリぐらいの大きさですが、薄茶色の胸にはまだらの模様があり、鋭く曲がったくちばしと眼光の鋭さ、まぎれもなくタカやツミ、ノスリといった類でした。直ぐに小学校の方に飛んで行ってしまいました。

ウコンの桜 その2

ソメイヨシノが散り始めると、ウコンが咲きだします。今年は四月十日辺りが見ごろだったようです。前号で紹介した「魚猛」さんの桜を見にいくと、その時は盛りを過ぎていましたが、薄緑色の花びらの中にかすかにピンクの入った優雅な花が素敵でした。しかも玄関には、ウコンの桜の丁寧な説明が貼ってありました。魚猛さん、有難うございました。来年もよろしく！

南宇都宮からのお客さま

東武宇都宮線の「南宇都宮駅」が景観賞を受けましたが、兄弟駅である「ときわ台駅」がどんな様子か、宇都宮の市民が五月に訪ねて来ることになっています。はたしてどんな感想を持たれるか楽しみです。

常盤台公園のはなづくり

今年のチューリップはいかがでしたか？ど派手だったでしょうか。でも、目の覚めるような赤は良いですね。人を元気にさせるように思います。来年はこうしたら？とアイデアがありましたらお聞かせください。

図書館前の花壇は地表から1mぐらい高い所にあるので、小さい子は大人にだっこされないと花を見られせん。もともと花壇ではない場所を花づくりの会が交渉して花を植えたので、計画された花壇と違うのです。大人はこの目線で花を見るのが殆どないので、珍しくて良いという人もいます。

児童遊園の近くに芝生のきれいなお宅があり、いつもあんなに青々としてきれいなのはどんな種類の芝で、どんな手入れをしているのか、公園のはげちよろけの芝生にため息をついている私たちは以前から関心がありました。たまたま玄関に家の方が出たので、思い切って声をかけてみました。うかがうと、なんとひたすら雑草を抜くだけ、というお答え！特別な芝でもないし、特別な手入れがあるわけでもないのだそうです。実はがっかりしました。となると公園のはげちよろけも、これ以上に頑張って雑草抜きをしないとイケないということですから。